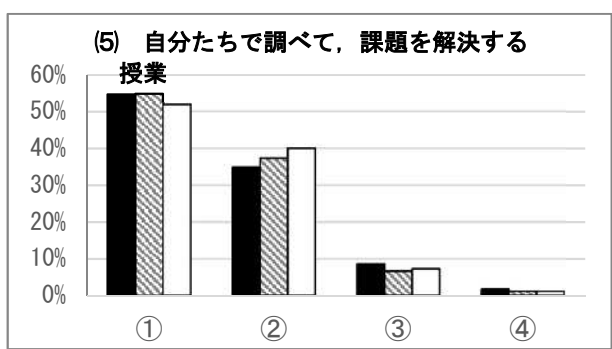
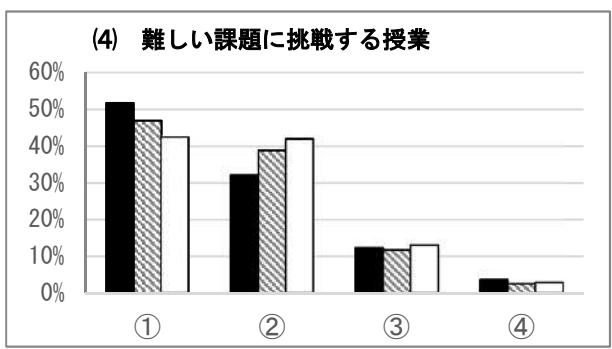
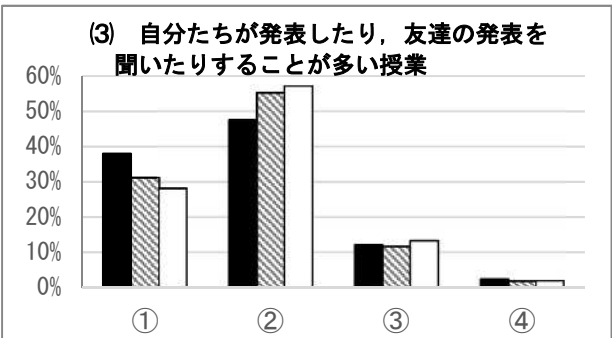
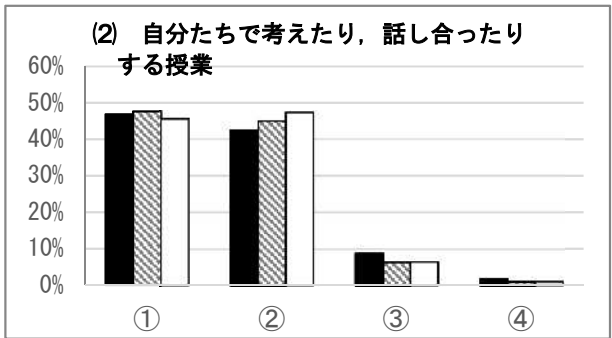
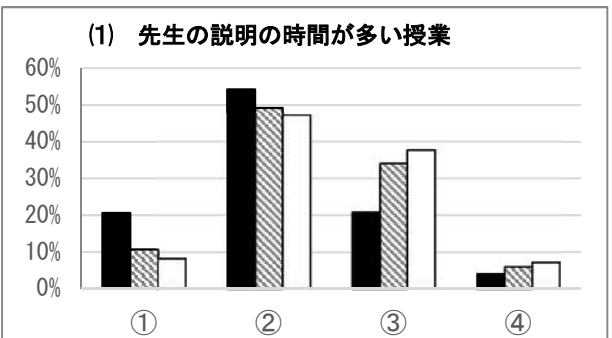
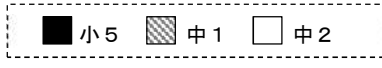


VI 児童生徒質問紙の結果概要

1 授業中の学習に対する満足度

2 あなたは、次のような授業で学んでいて、どのように感じますか。

- ① とてもやりがいを感じる
- ② やりがいを感じる
- ③ あまりやりがいを感じない
- ④ やりがいを感じない



○ 「(1)先生の説明の時間が多い授業」について、「とてもやりがいを感じる」と積極的に肯定している児童生徒の割合が少なく、「(2)自分たちで考えたり、話し合ったりする授業」や「(5)自分たちで調べて、課題を解決する授業」など、能動的な授業にやりがいを感じている児童生徒の割合が高く、昨年度と同様の傾向が見られた。

⇒ 児童生徒は、課題について他者と共に考え、自分たちで課題を解決する授業を求める傾向が強いと考えられる。また、次ページの結果から、児童生徒が、授業の中でタブレットやパソコン等を活用することにもやりがいを感じており、ICTの活用が児童生徒の学習意欲を向上させていることが伺える。

今後は、課題解決の場面で児童生徒にタブレットやパソコン等を使用させるなど、主体的・対話的で深い学びを実現する手段として、ICTを授業に積極的に取り入れることが一層求められるものと考えられる。

<より質の高い授業づくりを！>

- 単元や題材など内容や時間のまとまりをどのようにデザインし、1単位時間の授業のゴールをどのようにイメージするか。
- 児童生徒が考える場面と教師が教える場面を、どのように設定するか。
- 目的に沿った指導方法や指導上の留意点は、どのようなものがあるか。
- 目標と対応した評価活動にするためには、どうすればいいか。
- 授業の山場はどこか。どのように授業を展開するか。
- ※ 児童生徒の興味・関心を喚起し、持続するためにはどのような授業の流れが有効か。
- ※ どのような発問が児童生徒の学びを深めるのか。

(参考)「学びの羅針盤」鹿児島県教育委員会

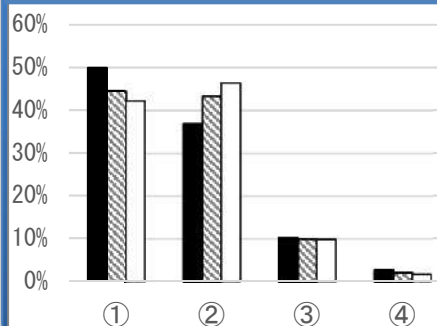
2 ICTの活用状況

2 あなたは、次のような授業で学んでいて、どのように感じますか。

- ① とてもやりがいを感じる ③ あまりやりがいを感じない
 ② やりがいを感じる ④ やりがいを感じない

■ 小5 ▨ 中1 □ 中2

(6) タブレットやパソコン、電子黒板等を活用した授業



<授業におけるタブレットやパソコンの活用場面例>

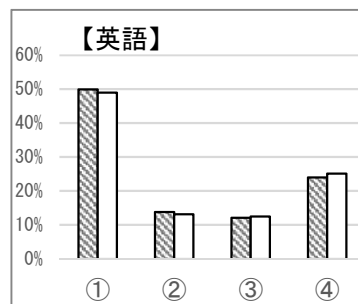
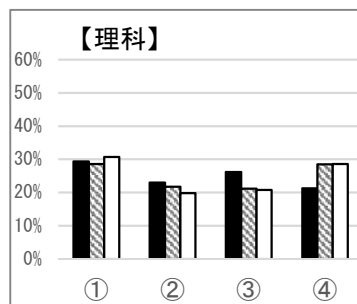
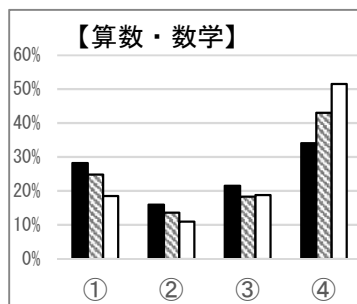
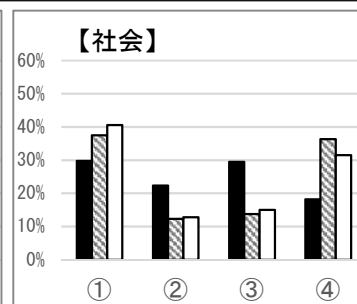
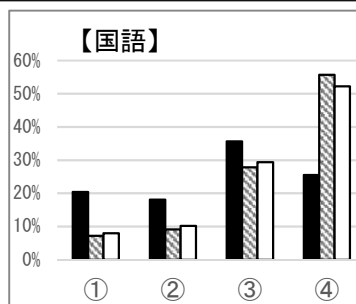
- ・ 教科書にあるQRコードを使って、資料を視聴し、考察する学習
- ・ タブレットを活用し、自らの疑問について深く調べる学習
- ・ 動画や写真を見ながら、他者とともに学び合う学習
- ・ 遠隔システムを使って、専門家に直接話を聞いて学びを深める学習
- ・ 一人一人が情報を検索し、取捨選択しながら学びを深めたり、発信したりする学習

など

(参考)「かごしまの教育」No.79 令和2年12月 鹿児島県教育委員会

6 授業で、タブレットやパソコン、電子黒板等をどれくらい活用していますか。

- ① よくしている (週に数回)
 ② どちらかといえばしている (週1回程度)
 ③ あまりしていない (月に数回)
 ④ まったくしていない



■ 小5 ▨ 中1 □ 中2

- 「(6)タブレットやパソコン、電子黒板等を活用した授業」について、「とてもやりがいを感じる」「やりがいを感じる」と肯定的に捉えている割合は、どの学年も高くなっている。
- 児童生徒が授業でのタブレットやパソコン、電子黒板等の活用について、「よくしている」と回答している割合が高い教科は英語で、中1が62.7%、中2が62.2%となっている。
- 国語や算数・数学を見ると、活用を「あまりしていない」「まったくしていない」と回答している割合が高い。また、これらの教科においては、中学校での活用が進んでいない傾向が見られる。

⇒ 授業におけるタブレット等の活用の頻度は、教科によって差が大きい。活用の頻度が少ない教科においては、2(6)で明らかになった「タブレット等を活用して課題を解決する授業にやりがいを感じている」という児童生徒の実態に合った指導が十分にできていないと考えられる。一人一台端末を生かした学力向上を実現するために、まずは、授業でいつでも使える状態にしておき、簡単な機能を使うことから始めたい。そして、日頃の授業において児童生徒と共に使う中で、教師自身もできることを少しずつ増やすとともに、より効果的な活用方法について研修していくことが大切である。

令和2年度鹿児島学習定着度調査 児童生徒質問紙集計（県全体）

※ 無回答は除いており、割合のため必ずしも合計が100%にはなりません。全体の傾向として御活用ください。

1 日頃の授業では、どのような活動をする事が多いですか。教科ごとに二つずつ選んでください。

- ① 先生の説明を聞く。
- ② 学習の手順や方法を考える。
- ③ 課題について、調べ学習をする。
- ④ 自分でじっくり考える。
- ⑤ 自分の考えを文章にまとめる。
- ⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり、教え合ったりする。
- ⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。
- ⑧ 互いに発表したり、説明したりする。

国語	小5	中1	中2
①	23.8%	33.8%	36.3%
②	9.3%	6.9%	6.5%
③	6.1%	4.6%	4.6%
④	9.3%	10.3%	10.7%
⑤	23.8%	20.0%	18.4%
⑥	11.6%	12.1%	13.3%
⑦	4.7%	3.3%	2.7%
⑧	11.2%	8.8%	7.5%

社会	小5	中1	中2
①	20.3%	35.1%	37.8%
②	5.4%	5.0%	4.7%
③	20.8%	14.8%	15.5%
④	9.5%	11.8%	11.1%
⑤	5.6%	4.6%	4.5%
⑥	9.4%	12.7%	13.3%
⑦	22.5%	9.8%	7.4%
⑧	6.3%	6.1%	5.6%

算・数	小5	中1	中2
①	21.3%	28.0%	29.1%
②	12.1%	12.6%	12.6%
③	3.4%	2.9%	2.5%
④	28.2%	28.2%	26.6%
⑤	4.4%	2.0%	1.6%
⑥	12.8%	16.0%	18.2%
⑦	2.8%	2.4%	2.4%
⑧	14.8%	7.9%	6.9%

理科	小5	中1	中2
①	25.3%	32.7%	37.9%
②	13.1%	11.5%	10.0%
③	10.0%	9.9%	7.9%
④	8.7%	9.2%	11.4%
⑤	4.5%	3.8%	3.0%
⑥	22.1%	22.5%	21.0%
⑦	4.3%	4.3%	3.5%
⑧	11.7%	6.0%	5.1%

英語	小5	中1	中2
①	—	32.0%	32.6%
②	—	4.8%	4.5%
③	—	3.3%	2.8%
④	—	10.0%	9.7%
⑤	—	2.6%	4.1%
⑥	—	23.8%	25.8%
⑦	—	1.8%	1.6%
⑧	—	21.5%	18.9%

2 あなたは、次のような授業で学んでいて、どのように感じますか。

(1) 先生の説明の時間が多い授業

- ① とてもやりがいを感じる。
- ② やりがいを感じる。
- ③ あまりやりがいを感じない。
- ④ やりがいを感じない。

—	小5	中1	中2
①	20.7%	10.7%	8.2%
②	54.3%	49.2%	47.1%
③	20.8%	34.1%	37.6%
④	4.1%	6.0%	7.1%

(2) 自分たちで考えたり、話し合ったりする授業

- ① とてもやりがいを感じる。
- ② やりがいを感じる。
- ③ あまりやりがいを感じない。
- ④ やりがいを感じない。

—	小5	中1	中2
①	46.8%	47.7%	45.4%
②	42.4%	44.9%	47.3%
③	8.8%	6.4%	6.3%
④	1.8%	1.0%	1.0%

(3) 自分たちが発表したり、友達の発表を聞いたりすることが多い授業

- ① とてもやりがいを感じる。
- ② やりがいを感じる。
- ③ あまりやりがいを感じない。
- ④ やりがいを感じない。

—	小5	中1	中2
①	38.0%	31.2%	28.0%
②	47.5%	55.3%	57.0%
③	12.1%	11.6%	13.2%
④	2.4%	1.8%	1.8%

(4) 難しい課題に挑戦する授業

- ① とてもやりがいを感じる。
- ② やりがいを感じる。
- ③ あまりやりがいを感じない。
- ④ やりがいを感じない。

—	小5	中1	中2
①	51.7%	46.9%	42.4%
②	32.1%	38.9%	41.9%
③	12.4%	11.7%	13.0%
④	3.6%	2.5%	2.8%

(5) 自分たちで調べて、課題を解決する授業

- ① とてもやりがいを感じる。
- ② やりがいを感じる。
- ③ あまりやりがいを感じない。
- ④ やりがいを感じない。

—	小5	中1	中2
①	54.7%	54.9%	51.8%
②	34.9%	37.3%	39.9%
③	8.6%	6.7%	7.2%
④	1.7%	1.2%	1.1%

(6) タブレットやパソコン、電子黒板等を活用した授業

- ① とてもやりがいを感じる。
- ② やりがいを感じる。
- ③ あまりやりがいを感じない。
- ④ やりがいを感じない。

—	小5	中1	中2
①	49.9%	44.5%	42.2%
②	37.0%	43.4%	46.4%
③	10.2%	10.0%	9.8%
④	2.7%	2.0%	1.6%

3 あなたの学級では、授業のめあて（学習目標）を立てていますか。教科ごとに一つ選んでください。

- ① よくしている
- ② どちらかといえばしている
- ③ あまりしていない
- ④ まったくしていない

国語	小5	中1	中2
①	63.4%	65.5%	66.1%
②	24.4%	22.1%	22.1%
③	9.6%	10.4%	9.9%
④	2.4%	2.0%	2.0%

社会	小5	中1	中2
①	62.2%	68.2%	70.1%
②	23.9%	19.1%	17.2%
③	10.9%	9.9%	9.8%
④	2.8%	2.7%	2.8%

算・数	小5	中1	中2
①	67.5%	63.7%	65.3%
②	22.2%	23.3%	22.9%
③	7.9%	10.6%	9.5%
④	2.3%	2.4%	2.2%

理科	小5	中1	中2
①	55.2%	59.6%	56.9%
②	28.5%	24.7%	24.5%
③	12.3%	13.0%	14.4%
④	3.7%	2.7%	4.1%

英語	小5	中1	中2
①		54.7%	56.1%
②		28.3%	27.9%
③		13.7%	12.8%
④		3.3%	3.2%

4 授業の始めに、学習の流れを確認していますか。教科ごとに一つ選んでください。

- ① よくしている
- ② どちらかといえばしている
- ③ あまりしていない
- ④ まったくしていない

国語	小5	中1	中2
①	43.9%	41.8%	42.7%
②	34.7%	36.1%	35.6%
③	16.9%	18.7%	17.7%
④	4.3%	3.4%	4.0%

社会	小5	中1	中2
①	36.7%	36.6%	37.7%
②	38.2%	37.4%	36.8%
③	19.9%	21.7%	21.1%
④	5.1%	4.2%	4.4%

算・数	小5	中1	中2
①	44.2%	33.9%	34.6%
②	34.0%	39.5%	39.5%
③	17.2%	22.5%	21.3%
④	4.6%	4.0%	4.6%

理科	小5	中1	中2
①	43.1%	34.3%	31.9%
②	34.1%	40.1%	39.6%
③	17.3%	21.8%	23.1%
④	5.2%	3.8%	5.3%

英語	小5	中1	中2
①		38.6%	36.4%
②		37.9%	39.1%
③		19.6%	20.1%
④		3.8%	4.4%

5 授業の終わりに学習内容を振り返る活動（ノートにまとめたり、考えたことを整理したりするなど）を行っていますか。教科ごとに一つ選んでください。

- ① よくしている
- ② どちらかといえばしている
- ③ あまりしていない
- ④ まったくしていない

国語	小5	中1	中2
①	39.4%	33.6%	30.7%
②	32.5%	32.3%	32.6%
③	22.0%	27.5%	29.4%
④	5.9%	6.5%	7.2%

社会	小5	中1	中2
①	50.3%	45.1%	43.0%
②	27.6%	28.8%	29.3%
③	16.8%	20.3%	21.6%
④	5.1%	5.8%	5.9%

算・数	小5	中1	中2
①	55.2%	38.6%	35.8%
②	27.0%	33.7%	34.5%
③	13.4%	21.8%	23.4%
④	4.2%	5.9%	6.3%

理科	小5	中1	中2
①	44.6%	38.0%	37.0%
②	30.5%	33.1%	32.4%
③	18.0%	22.8%	23.7%
④	6.7%	6.1%	6.7%

英語	小5	中1	中2
①		31.3%	28.9%
②		35.1%	35.7%
③		26.2%	27.9%
④		7.3%	7.4%

6 授業で、タブレットやパソコン、電子黒板等をどれくらい活用していますか。教科ごとに一つ選んでください。

- ① よくしている（週に数回）
- ② どちらかといえばしている（週1回程度）
- ③ あまりしていない（月に数回）
- ④ まったくしていない

国語	小5	中1	中2
①	20.4%	7.2%	8.0%
②	18.2%	9.1%	10.2%
③	35.7%	27.8%	29.4%
④	25.5%	55.7%	52.3%

社会	小5	中1	中2
①	29.8%	37.5%	40.6%
②	22.4%	12.3%	12.8%
③	29.5%	13.8%	15.0%
④	18.2%	36.3%	31.5%

算・数	小5	中1	中2
①	28.3%	24.8%	18.5%
②	16.0%	13.7%	11.0%
③	21.5%	18.3%	18.8%
④	34.1%	43.1%	51.6%

理科	小5	中1	中2
①	29.4%	28.6%	30.7%
②	23.0%	21.7%	19.8%
③	26.2%	21.1%	20.8%
④	21.2%	28.5%	28.6%

英語	小5	中1	中2
①		49.9%	49.0%
②		13.8%	13.2%
③		12.1%	12.5%
④		24.0%	25.2%

7 家庭で、インターネットを利用した遊び（スマートフォンのアプリ、ゲーム、SNS、音楽、動画、画像等を見るなど）を、1日当たりどれくらいの時間していますか。平日及び休みの日ごとに一つ選んでください。

- ① していない。
- ② 30分より少ない。
- ③ 30分以上1時間より少ない。
- ④ 1時間以上2時間より少ない。
- ⑤ 2時間以上3時間より少ない。
- ⑥ 3時間以上4時間より少ない。
- ⑦ 4時間以上5時間より少ない。
- ⑧ 5時間以上。

平日	小5	中1	中2
①	18.0%	9.9%	7.0%
②	17.5%	13.0%	10.2%
③	24.4%	23.7%	20.4%
④	22.3%	28.8%	31.7%
⑤	9.5%	14.1%	18.0%
⑥	4.4%	6.2%	7.1%
⑦	2.2%	2.5%	3.1%
⑧	1.6%	1.8%	2.5%

休みの日	小5	中1	中2
①	5.1%	3.2%	2.5%
②	6.8%	3.3%	2.9%
③	13.8%	7.5%	6.1%
④	22.5%	17.8%	14.4%
⑤	18.7%	24.1%	23.0%
⑥	12.3%	18.1%	21.0%
⑦	7.9%	10.3%	11.6%
⑧	12.8%	15.8%	18.4%

8 家庭で、インターネットを利用した学習（パソコンでできるドリル練習、検索サイトを使った調べ学習など）を1日当たりどれくらいの時間していますか。平日及び休みの日ごとに一つ選んでください。

- ① していない。
- ② 30分より少ない。
- ③ 30分以上1時間より少ない。
- ④ 1時間以上2時間より少ない。
- ⑤ 2時間以上3時間より少ない。
- ⑥ 3時間以上4時間より少ない。
- ⑦ 4時間以上5時間より少ない。
- ⑧ 5時間以上。

平日	小5	中1	中2
①	56.6%	51.0%	51.1%
②	25.5%	25.3%	25.8%
③	11.9%	15.7%	15.1%
④	4.3%	6.2%	6.0%
⑤	1.0%	1.3%	1.4%
⑥	0.1%	0.3%	0.3%
⑦	0.1%	0.0%	0.1%
⑧	0.1%	0.1%	0.1%

休みの日	小5	中1	中2
①	48.5%	41.1%	41.3%
②	24.6%	23.7%	24.3%
③	14.9%	17.3%	17.3%
④	7.4%	11.2%	10.7%
⑤	2.6%	4.5%	4.1%
⑥	1.0%	1.4%	1.5%
⑦	0.4%	0.4%	0.4%
⑧	0.4%	0.3%	0.3%

VII 学校質問紙の結果概要

1 目的

各学校の学力向上の取組、校内研修の状況、家庭との連携等を把握するとともに、「学力調査」及び「児童生徒質問紙」の結果との関係等を分析し、今後の指導方法や職員研修の改善・充実に活用する。

2 調査結果

○ 回答校数

小学校質問紙 506校（特別支援学校小学部5校を含む）

中学校質問紙 219校（特別支援学校中学部7校、楠隼中学校を含む）

学力向上の取組（授業における工夫・改善）

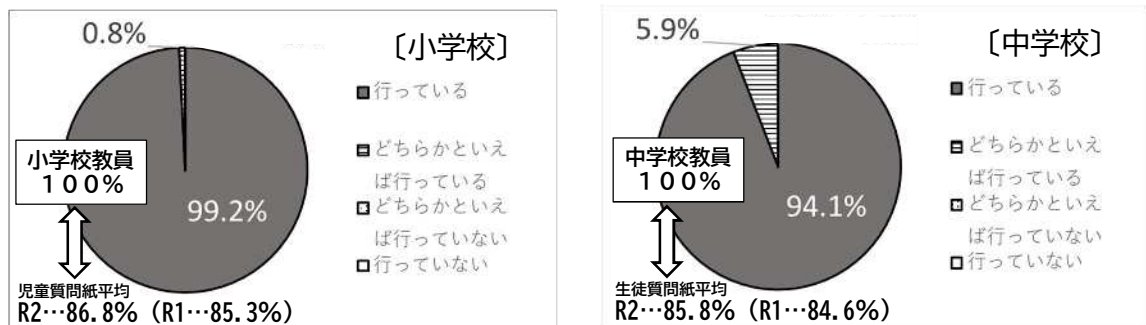
○ 学校質問紙では、全ての学校が「目標の明確化」「見通しと振り返りの設定」について意識していると回答しているが、児童生徒の受け止め方との差が大きい。特に「振り返り」については、小学校で約23%、中学校で約31%の児童生徒が「行われていない」と回答している。

⇒ 教師と児童生徒の意識に差があることは昨年度も示しており、今年度も大幅な改善がなされていないことは課題として捉えなければならない。「振り返り」の場面で、児童生徒にどんなことを考えさせたいか、児童生徒からどんな言葉を引き出したいかをイメージした授業づくりがなされているだろうか。児童生徒が、めあて（学習目標）を立て、学習の見通しをもち、授業の終わりには学習内容を振り返っていると実感できるように、全職員で意図的、明示的に行うことが大切である。

※ グラフ左にある四角囲みの数字は、肯定的（「行っている」「どちらかといえば行っている」）に回答した割合である。

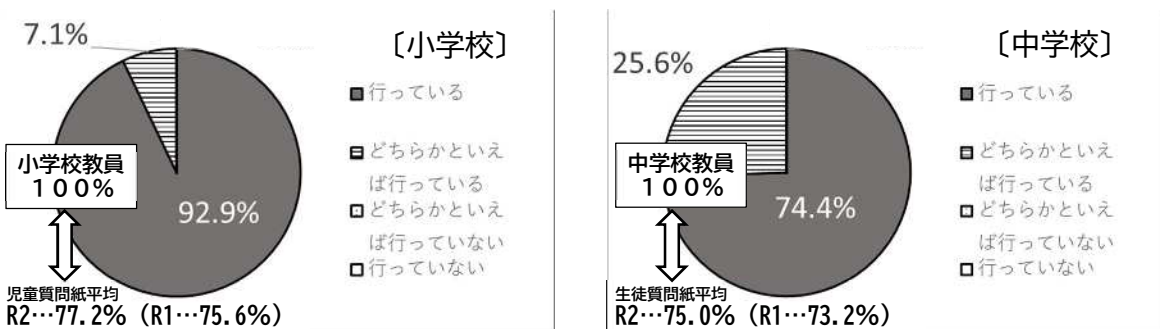
学校質問紙1-1：授業のめあて（学習目標）を立てている。

◆ 児童生徒質問紙（比較質問）「3 あなたの学級では、授業のめあて（学習目標）を立てていますか。」（全教科平均）



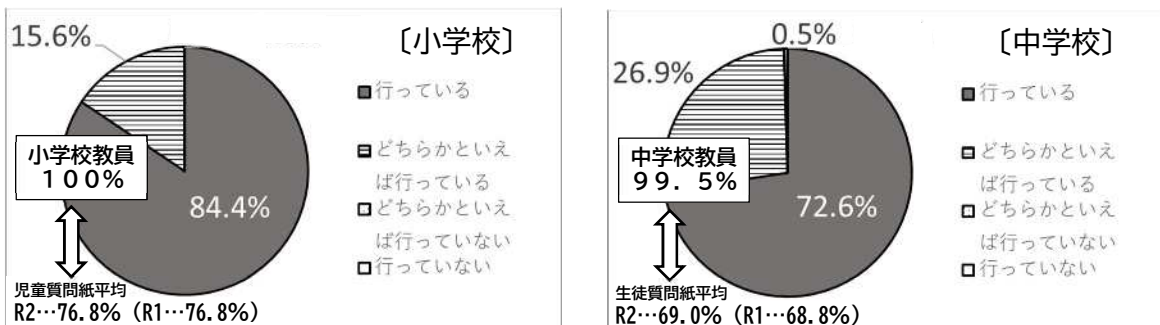
学校質問紙1-1 授業の始めに、学習の見通しをもたせている。

◆ 児童生徒質問紙（比較質問）：「4 授業の始めに、学習の流れを確認していますか。」（全教科平均）



学校質問紙1-1 授業の終わりに振り返る活動を行っている。

◆ 児童生徒質問紙（比較質問）「4 授業の終わりに、学習内容を振り返る活動を行っていますか。」（全教科平均）



学力向上の取組（各種学力調査等の活用）

○ かがしま学力向上支援Webシステム単元・領域別評価問題と全国学力・学習状況調査問題の活用状況は、小・中学校いずれにおいても高まっている。特に「行っている」と回答している割合が、大きく増加している。

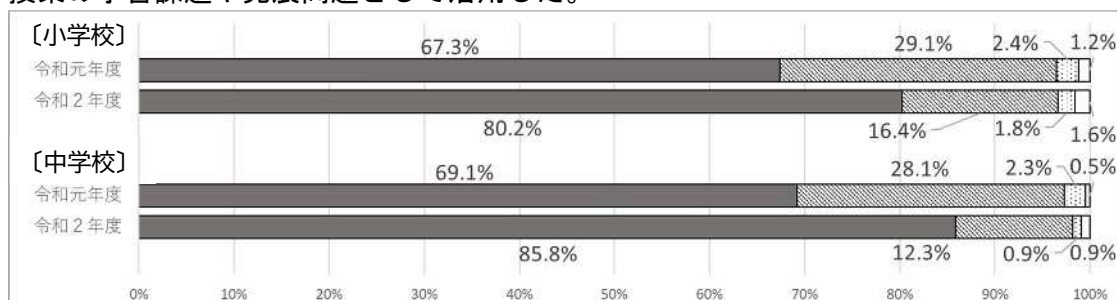
⇒ 昨年度と比較し、「行っている」と回答している割合が大きく増加していることから、各学校において、演習問題の取組について、年間を通じた組織的・計画的な取組が進んでいるものと考えられる。そして、このことが、今回の鹿児島学習定着度調査の結果を向上させた要因であると考えられる。

自校において各教科における取組状況と調査結果を照らし合わせ、効果的な活用の在り方について研究する、「全国学力・学習状況調査 授業アイデア例」（国立教育政策研究所）等を参考にし、授業等に活用するなど、今後も継続して取り組み、鹿児島県の児童生徒の更なる学力向上を図ることが必要である。

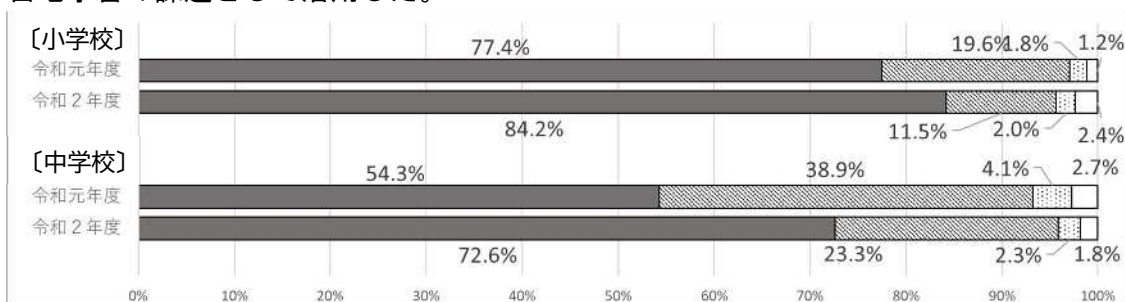
■ 行っている ▨ どちらかといえば行っている ▤ どちらかといえば行っていない □ 行っていない

学校質問紙 1-(4) かがしま学力向上支援Webシステム単元・領域別評価問題の活用状況

◎ 授業の学習課題や発展問題として活用した。

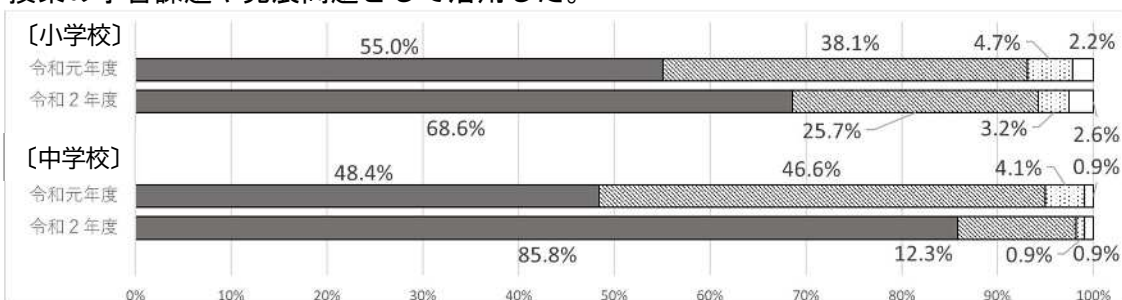


◎ 自宅学習の課題として活用した。

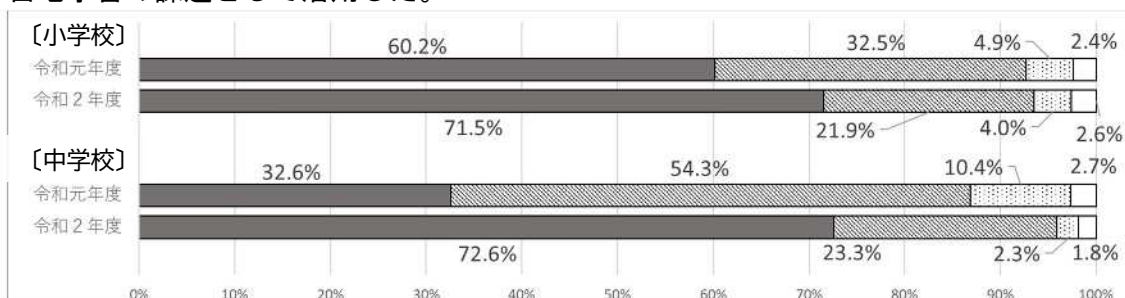


学校質問紙 1-(5) 昨年度までの全国学力・学習状況調査問題の活用状況

◎ 授業の学習課題や発展問題として活用した。

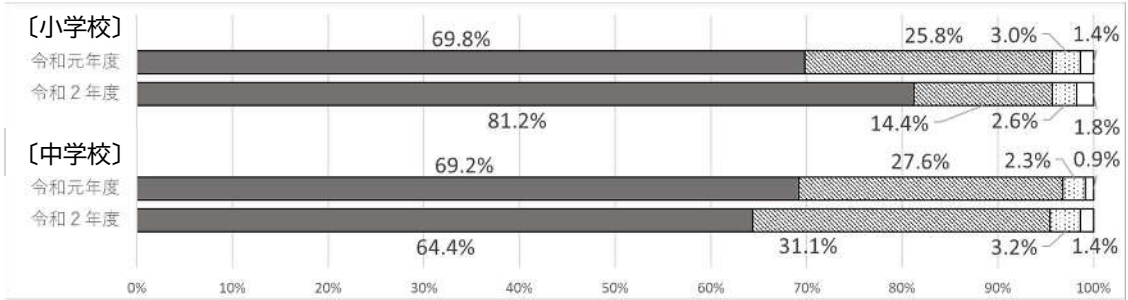


◎ 自宅学習の課題として活用した。

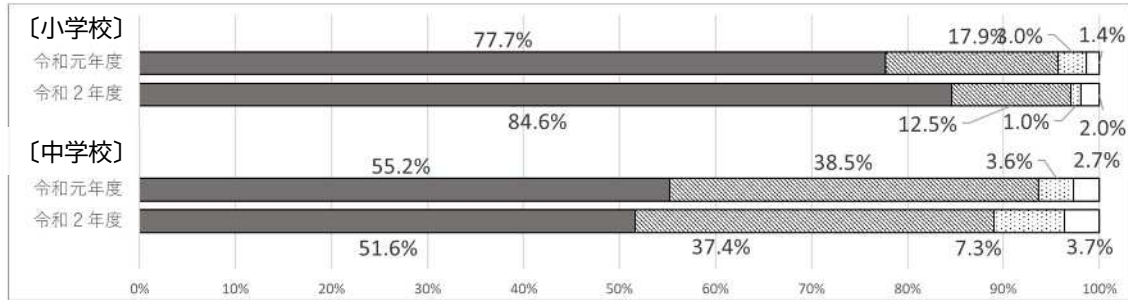


学校質問紙 1-(6) 昨年度までの鹿児島学習定着度調査問題の活用状況

◎ 授業の学習課題や発展問題として活用した。



◎ 自宅学習の課題として活用した。



学力向上の取組（補充指導や個別指導の充実）

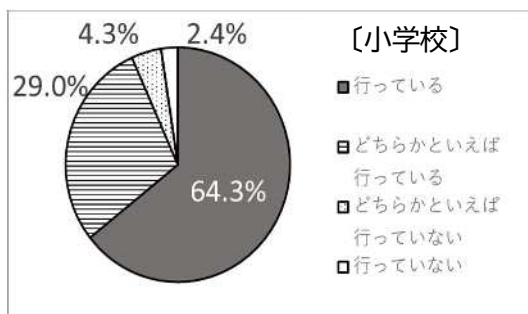
○ 授業以外での補充指導や個別指導については、年間を通して定期的に取り組んでいる学校が、小学校で95.8%、中学校で85.7%であり、いずれも前年度から上昇している。

⇒ 多くの学校で時間を設定し、全校体制で児童生徒の実態に応じた補充指導や個別指導を実施している。こうした授業以外の指導においては、各種学力調査や定期テスト、単元末テストへの取組も多くなされているが、実施するだけでなく、要点を押さえて解説をすることや、間違えた問題ができるようになるまで見届けることが大切である。

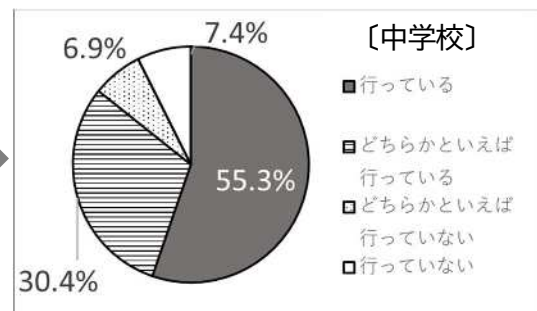
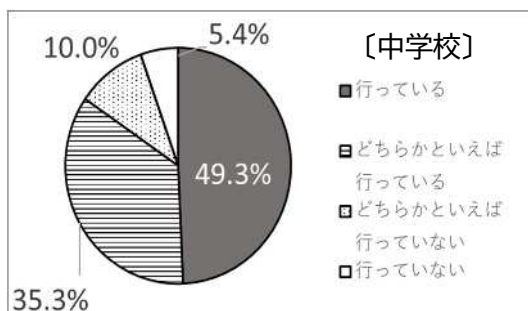
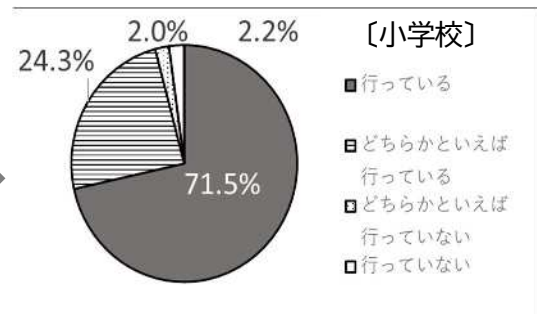
なお、学力向上を図るためには、一時間一時間の授業を大切にすることが基本である。毎時間が、児童生徒にとって「分からなかったことが分かるようになる」「できなかったことができるようになる」授業づくりに取り組む必要がある。

学校質問紙 1-(8) 授業以外での補充指導や個別指導の時間を設定して定期的実施している。

【令和元年度】



【令和2年度】



令和2年度鹿児島学習定着度調査 学校質問紙集計（県全体）

小学校	506	中学校	219
-----	-----	-----	-----

： 無回答は除いており、割合のため必ずしも合計が100%にはなりません。全体の傾向として御活用ください。

1 学力向上の取組

(1) 授業における工夫・改善

	項目	行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	行っていない
小学校	授業のめあて（学習目標）を立てている	99.2%	0.8%	0.0%	0.0%
	授業の始めに、学習の見通しをもたせている	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%
	自分の考えを書く活動を行っている	89.1%	10.7%	0.2%	0.0%
	授業の終わりに学習内容を振り返る活動を行っている	84.4%	15.6%	0.0%	0.0%
中学校	授業のめあて（学習目標）を立てている	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%
	授業の始めに、学習の見通しをもたせている	74.4%	25.6%	0.0%	0.0%
	自分の考えを書く活動を行っている	66.2%	33.8%	0.0%	0.0%
	授業の終わりに学習内容を振り返る活動を行っている	72.6%	26.9%	0.5%	0.0%

(2) 令和2年度全国学力・学習状況調査の問題の使用状況

	項目	行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	行っていない
小学校	時間を確保して実施した	94.7%	2.8%	0.2%	2.4%
	各大問を分散して、授業で時間を確保して実施した	43.5%	20.6%	1.8%	34.1%
	各大問を分散して、授業で時間を確保、定期テストに出題、家庭学習の課題で取り扱うなどして実施した	45.2%	19.7%	2.2%	32.9%
中学校	時間を確保して実施した	89.8%	6.0%	0.9%	3.2%
	各大問を分散して、授業で時間を確保して実施した	38.2%	25.3%	4.6%	31.8%
	各大問を分散して、授業で時間を確保、定期テストに出題、家庭学習の課題で取り扱うなどして実施した	36.6%	26.9%	4.6%	31.9%

(3) 全国学力・学習状況調査結果分析の状況

	項目	行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	行っていない
小学校	全職員で分析した	74.3%	18.2%	3.4%	4.2%
	学年部や教科部等で分析した	69.6%	19.4%	2.0%	9.1%
	結果から学校の課題を明確にし、教育課程の改善を図った	76.7%	21.9%	0.4%	1.0%
	国立教育政策研究所の解説資料等を活用した	62.8%	34.0%	2.2%	1.0%
中学校	全職員で分析した	55.7%	23.7%	11.4%	9.1%
	学年部や教科部等で分析した	77.2%	19.2%	1.8%	1.8%
	結果から学校の課題を明確にし、教育課程の改善を図った	58.9%	36.1%	1.8%	3.2%
	国立教育政策研究所の解説資料等を活用した	46.6%	43.8%	4.6%	5.0%

(4) かごしま学力向上支援Webシステム単元・領域別評価問題の活用状況

	項目	行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	行っていない
小学校	授業の学習課題や発展問題として活用した	80.2%	16.4%	1.8%	1.6%
	単元末の復習問題等として活用した	70.6%	24.9%	3.2%	1.4%
	自宅学習の課題として活用した	84.2%	11.5%	2.0%	2.4%
	長期休業中の課題として活用した	75.7%	14.4%	4.5%	5.3%
中学校	授業の学習課題や発展問題として活用した	85.8%	12.3%	0.9%	0.9%
	定期テスト等の問題として活用した	69.9%	26.5%	1.4%	2.3%
	自宅学習の課題として活用した	72.6%	23.3%	2.3%	1.8%
	長期休業中の課題として活用した	74.4%	21.0%	2.7%	1.8%

(5) 昨年度までの全国学力・学習状況調査問題の活用状況

	項目	行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	行っていない
小学校	授業の学習課題や発展問題として活用した	68.6%	25.7%	3.2%	2.6%
	単元末の復習問題等として活用した	56.9%	34.0%	5.9%	3.2%
	自宅学習の課題として活用した	71.5%	21.9%	4.0%	2.6%
	長期休業中の課題として活用した	60.3%	24.7%	7.3%	7.7%
中学校	授業の学習課題や発展問題として活用した	85.8%	12.3%	0.9%	0.9%
	定期テスト等の問題として活用した	69.9%	26.5%	1.4%	2.3%
	自宅学習の課題として活用した	72.6%	23.3%	2.3%	1.8%
	長期休業中の課題として活用した	74.4%	21.0%	2.7%	1.8%

(6) 昨年度までの鹿児島学習定着度調査問題の活用状況

	項目	行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	行っていない
小学校	授業の学習課題や発展問題として活用した	81.2%	14.4%	2.6%	1.8%
	単元末の復習問題等として活用した	69.4%	24.5%	3.8%	2.4%
	自宅学習の課題として活用した	84.6%	12.5%	1.0%	2.0%
	長期休業中の課題として活用した	81.2%	12.5%	2.6%	3.8%
中学校	授業の学習課題や発展問題として活用した	64.4%	31.1%	3.2%	1.4%
	定期テスト等の問題として活用した	41.6%	47.9%	7.3%	3.2%
	自宅学習の課題として活用した	51.6%	37.4%	7.3%	3.7%
	長期休業中の課題として活用した	50.7%	37.4%	6.8%	5.0%

(7) (4)から(6)などの「思考力、判断力、表現力」を育む問題への取組状況（調査対象学年（5年）の児童について）

項目		国語	社会	算数	理科	
小学5年	月1回未満	0.8%	0.8%	0.8%	1.0%	
	月1回	2.4%	4.5%	1.4%	4.9%	
	月2回	35.4%	50.8%	34.3%	49.4%	
	週1回以上	61.4%	43.9%	63.4%	44.7%	
項目		国語	社会	数学	理科	外国語
中学1年	月1回未満	1.4%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%
	月1回	12.7%	10.3%	9.9%	12.7%	16.9%
	月2回	49.3%	54.9%	46.9%	49.3%	45.1%
	週1回以上	36.6%	33.8%	42.3%	37.1%	37.1%
中学2年	月1回未満	2.8%	1.4%	2.8%	2.3%	0.5%
	月1回	11.1%	12.0%	10.1%	12.4%	14.3%
	月2回	50.2%	54.8%	47.5%	47.0%	48.4%
	週1回以上	35.9%	31.8%	39.6%	38.2%	36.9%

(8) 授業以外での補充指導や個別指導の実施

項目	行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	行っていない	
小学校	時間を設定して定期的実施している（通年）	71.5%	24.3%	2.0%	2.2%
	時期を定めて実施している（単元末テストの前後等）	54.2%	31.5%	3.2%	11.0%
	その他	33.5%	12.3%	1.7%	52.6%
中学校	時間を設定して定期的実施している（通年）	55.3%	30.4%	6.9%	7.4%
	時期を定めて実施している（定期テストの前後等）	53.7%	33.8%	5.1%	7.4%
	その他	33.7%	19.3%	2.1%	44.9%

【その他の主な内容】

○ 小学校

- ・ 休み時間における個別の質問対応や補充指導
- ・ 昼休みや放課後等を利用した補充指導や個別指導（担任と連携）
- ・ 朝のチャレンジタイム、週3回の学習支援タイム、学力向上タイム、土曜授業日の学習支援（管理職、専科、養護教諭、小中連携加配等）
- ・ 土曜授業日を学力向上日として位置付け、全国学力学習状況調査や鹿児島学習定着度調査、Webシステムの問題等への取組を実施
- ・ 水曜日の朝活動に「百力タイム」を設定し、レベルの高い問題や学力調査の過去問を実施
- ・ 指導方法工夫改善加配を中心に、「算数道場」として自主的に学習できる場を設定し、休み時間等を利用した指導・支援を実施
- ・ 毎学期、学期末テスト（自作の算数、漢字）を実施し、定着度確認及びやり直しの100%徹底
- ・ 少年団の開始前の児童や保護者の迎えを待つ児童を対象とした個別指導や補充指導の実施
- ・ 帰りの会における、一人一問計算問題の取組
- ・ （保護者の了解を得た）長期休業期間中の補充指導や個別指導
- ・ 夏季休業中5日間、冬季休業中3日間程度、希望児童を対象に自主学習教室（午前中のみ）の実施
- ・ 個の習熟の程度に合わせた自宅学習課題の工夫
- ・ 図書や新聞を活用した課題や、「書く力」を付けさせるための短作文問題を家庭学習等で実施
- ・ web問題や過去問題で定着状況が良くなかった問題を家庭学習とし、後日授業の中で解答・解説を実施

○ 中学校

- ・ 廊下にホワイトボードを設置、休み時間や放課後等を利用した教員への質問や生徒同士の学び合いの実施
- ・ 職員室前にスペースを設け、補充・深化指導等の実施
- ・ 部活終了時刻まで、希望者に対して教室を開放し、自習時間を確保
- ・ 休みや放課後に希望者による個別指導や小テストの復習を実施
- ・ 休み・放課後などの時間を利用し、個別指導や教え合い学習（スマールティーチャー）を展開、教科によっては合同で個別指導を実施
- ・ 朝学習（年間50回）、学びの時間（教科時数の中で複数体制で補充指導を行う時間）を年20時間計画的に実施
- ・ 長期休業中、パソコン室や教室を開放し、個別指導や相互学習を実施
- ・ 長期休業中、部活動生は2時間図書室で学習してから部活動を実施
- ・ 各教科において、通年（放課後、長期休業期間等）を通して、適宜個別指導を実施
- ・ 新聞記事（コラム欄）を読み解く個別指導、添削指導
- ・ 地域での学習会（週1回）の実施

(9) 管理職の学力向上に対する取組

項目	行っている	どちらかといえば行っている	どちらかといえば行っていない	行っていない	
小学校	校長が示した学力向上プランを全職員が理解し実践しているかを確認している	92.5%	7.3%	0.2%	0.0%
	校長室だより等で学力向上に関するメッセージを発信している	87.5%	12.1%	0.2%	0.2%
	教員との個別面談の際に学力向上の取組について確認している	97.4%	2.6%	0.0%	0.0%
	定期的に授業参観を行い、指導している	92.9%	6.9%	0.2%	0.0%
中学校	校長が示した学力向上プランを全職員が理解し実践しているかを確認している	90.9%	8.7%	0.5%	0.0%
	校長室だより等で学力向上に関するメッセージを発信している	79.9%	18.3%	1.4%	0.5%
	教員との個別面談の際に学力向上の取組について確認している	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%
	定期的に授業参観を行い、指導している	85.8%	14.2%	0.0%	0.0%

2 校内研修について（令和元年度）

項目	小学校			中学校		
	回数	割合 (%)	平均	回数	割合 (%)	平均
年間研修回数	14560		28.8	4482		20.5
その内 学力向上に関する研修回数	7126	48.9	14.1	1931	43.1	8.8
その内 授業を伴った研修回数	2447	34.3	4.8	972	50.3	4.4
その内 外部講師招聘回数	1364	55.7	2.7	602	61.9	2.7

